

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント になろう

第 2612回 例会
平成27年12月11日(金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会長 佐藤 泰文

幹事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

先週の神谷さんの卓和で未病を話されましたが、『未病』をテーマに小田原総合ビジネス高校で、全校生徒を対象に慶応大学の渡辺賢治教授の講演がありました。

この『未病』と言う言葉は日本語にありません。広辞苑や現代用語辞典等にも掲載されていません。東洋医学の病理概念のなかには未病と言う言葉があります。病気と言う程ではないが、病気に向かいつつある状態のことで、例えば手足の冷え、体の疲れ、胃腸の不調など、それは病気のサインかも知れません。

未病チェックシートは自分のタイプを知って未病を治すためのタイプ診断や、お勧めの養生を解説するページで渡辺教授が監修しています。

2千年以上前に記載された中国最古の医学書「黄帝内経」の中の言葉で、発病前つまり未病段階での治療がいかに大切かということが漢方の世界では古代から語り継がれてきました。未病という言葉は、日本語にないとされていますが、未病としての言葉はすでに日本でも定着しています。

少子高齢時代、平均寿命も80歳を超える今日です。その一方、医療費も増え、国民皆の保険制度や年金制度が続くかわからない時代ともいえます。このような時代だからこそ、一人一人が健康管理をして、自己予防を心掛け「自分の身体は自分で守る」という考えが必要になり、自立する医療環境が求められます。「健康」と「病気」の間を未病としての医薬品、サプリメントを試みるのも自主管理の評価のひとつでしょう。

出席報告	ゲスト 2名 ビジター 3名 会員 23名
	欠席 4(免除者 0名) 出席率 82.61%
	前回の修正出席率 90.91% 前々回の修正出席率 78.26%

事前メイクアップ 1名

ゲスト 野村證券(株)小田原支店

支店長 蔭山弘行様・課長 井上直記様

ビジター

第9グループガバナー補佐 石崎孝君(小田原城北RC)

第9グループIM・合同例会実行委員長 露木清勝君(小田原城北RC)

山崎克雄君(東京北RC・経営学教育)

幹事報告

湯河原町より

1. 新年賀詞交換会のご案内

日時: 1月4日(月)午後4時~

場所: 湯河原観光会館

会費: 2,000円

バキオ基金より

1. 2014年度事業報告書の送付と基金へのご寄付のお願い

湯河原新聞より

1. 年賀広告掲載のお願い

広告料: 5,000円

ポスト広告より

1. 第9グループ連名の年賀広告のお願い

広告料: 10,800円

連絡事項

1. 本日午後6時より「うおき」にて忘年懇親会が開催されます、ご出席される方は時間までにご参集下さい。

スマイルBOX

第9グループガバナー補佐 石崎孝君(小田原城北RC)

来年1月21日開催のIMには多くの会員皆さまのご出席をお願い致します。

第9グループIM・合同例会実行委員長 露木清勝君(小田原城北RC)

来年1月21日開催のIM・合同例会のPRにおじゃま致しました。よろしくお願ひ致します。

渡辺久恭君

渡辺彩香プロが年間獲得賞金ランキング6位、日本人トップ1億円を超えて一年終えました。

渡辺彩香プロが世界4大ツアー対抗戦で最終日、日本の優勝に貢献しました。

湯河原ロータリークラブ

野村証券小田原支店長 蔭山弘行様

本日は湯河原ロータリークラブのメンバーの皆様の前で、卓話させて頂く機会を頂戴し誠に感謝しております。

2014年2月にもお話しをさせて頂く機会を得ましたが、その時はアベノミクスが始まって1年経過した時点でした。今日はアベノミクスが始まって3年が経過した今、今後日本経済もしくは世界経済がどのようになって行くのか、丁度年末師走の時期でもございますので、来年の予想と言う形で、私個人の考えをご説明させて頂きたいと思っております。

まず日本経済の行方を占う前に、世界経済全般の動きを確認したいと思います。日本のGDPは世界第三位で6%（一位アメリカ約22.5%、二位中国約13.5%、EU全体で約25%）です。日本経済のGDP規模は第三位ですが、米、欧、中と比較するとかなり小さいので、当然世界経済の影響を強く受けます。

【世界経済の基礎的環境】

【米】

12月より利上げ開始。足元景気は絶好調。失業率5%、賃金上昇2.5%増、原油安、ドル高で低インフレ継続。利上げ後も金利上昇は緩やか。来年も個人消費堅調でGDP2.0%上昇。為替予想は円ドル130円。

来年11月8日大統領選。政策が出やすい。

【欧】

金融緩和継続。来年9月から再来年3月までの延長決定。ドイツ以外は景気がなかなか浮上しないため、インフレになりにくい。GDP成長率は1.5%程度。

【中】

現在、鋳業、鉄鋼、化学、非鉄金属の業種は過剰な生産設備を抱えていて、国内で余った商品が輸出に回り世界中にデフレを輸出している状況。ゆえに素材価格や商品市況は世界的に上がりにくい。一方で14年末からの金融緩和でようやく消費は回復傾向に。内需主導の経済へ政策を転換中。GDPは5.8%から5.6%へ低下。元高のため、訪日客の数は来年も増加予想。

【全般】

アメリカが利上げを開始するも、利上げのスピードはかなり緩やか。中国、欧州の回復スピードが遅いため、世界のお金の量は来年も緩和状況が続き、インフレ率も伸び悩む。相対的に製造業は中国の設備過剰の影響で川上の産業は厳しい。他方、各国のGDP60~70%を占める消費は堅調で緩やかな成長が継続。

【日本の状況】

金融緩和は当面継続。来年4月には更なる追加の緩和の可能性あり。来年7月末参議院選。

3.3兆円の補正が決まり、来年も賃上げ2%超で消費堅調。企業業績は8%成長予想で来年も過去最高益を更新。

円安や自社株買い、郵貯の民営化に伴う株式投資配分増加で株価堅調2万3000円程度までの上昇を予想。

【もう少し先の未来】

そろそろ第4次産業革命に突入。第一次は蒸気機関。第二次はディーゼル、第3次は情報通信革命。

第4次はIoT（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工頭脳）など。来年以降株式市場の有力なテーマ。

【まとめ】

世界の金融は来年も全体として緩和気味。中、欧の景気回復がもたつく反面、米・日の企業業績が相対的に好調なため、世界の資金は日・米に回しやすい。新たなテーマの発生で夢を買うような相場になる可能性も期待できる。時期的には毎年の事であるが11月から4月にかけて世界株はベスト6マンスを迎えるので春先までがチャンスと考えます。概して金融相場の為、今年同様上げ下げの振れ幅は大きいですが、基調は上昇基調と考えてよい。リスクは元の切り下げ、スペインの分裂問題、英のEU離脱、テロ、更なる資源安等が考えられるが、いずれも一時的なものだと考えます。

野村証券 蔭山支店長



佐藤会長挨拶

例会風景

